

## 2021 年度 救急・災害看護研究センター活動報告

(2021 年 4 月～2022 年 3 月)

運営内容	事業名	対象者	開催月日	内容
教育	原子力施設視察研修	学生・教職員	中止	COVID-19 感染拡大防止対策を踏まえた代替案について敦賀市原子力安全対策課と検討したが、感染状況により今年度は中止となった。
教育・地域貢献	敦賀消防団機能別班 (学生団員) 活動	学生 3・4 年生	4 月 1 日	卒業のため 8 名が退団し、新たに 3 年生 7 名と 4 年生 1 名が敦賀市消防団機能別班として入団した。学生団員は合計 15 名である。
			8 月 21 日	昭和町夏祭りに合わせて、学生団員 10 名が災害時の避難で毛布利用した担架を住民に説明するなど啓蒙活動を行った。
			11 月 3 日	学生団員 4 名がオープンキャンパスで高校生に心肺蘇生法の指導とともに、学生団員の活動を紹介した。
			2 月 25 日	総務省消防庁より、「令和 3 年度防災功労者消防庁長官表彰及び消防団等地域活動表彰」の受賞団体に選ばれた。
		救急・災害看護学分野学生	7 月 22 日	AHA BLS HCP Course
			7 月 23 日	新型コロナ感染予防対策を厳重に実施し、3 年生 31 名 (救急看護学履修) が AHA BLS プロバイダーを取得した。
	救急・災害におけるフォローアップ (教育)	卒業生	7 月 24 日	AHA BLS HCP Course 新型コロナ感染予防対策を厳重に実施し、県内者 4 名の卒業生が受講した。
			12 月 25 日	AHA BLS HCP Course 新型コロナ感染予防対策を厳重に実施し、県外者 9 名・県内者 1 名の合計 10 名の卒業生が受講した。
			7 月 24 日	救急や災害看護に関する相談や情報交換の場を提供のため、「TNU 救急・災害看護研究センター交流会 2021」ハイブリッド開催し、15 名が参加した。
	COVID-19 を原因とする災害に関する教育・研修・支援	学生、卒業生、看護職者、教職員		有志による COVID-19 基金のサポートを行った。
			新型コロナ感染予防対策により対面の研修は自粛した。新型コロナ感染症に関する情報提供コンテンツをアップデートし、大学 HP に公開した。	
	市内医療施設、敦賀市、大学内の災害時の備え整備			本学避難所の利用にあたり、災害危機管理委員会と協力してレイアウト案を提出した。

運営内容	事業名	対象者	開催月日	内容
地域貢献	講演・研修会	一般市民	8月2日	講演「感染リスクを下げてニュースポーツ」 越前市
			10月9日	講演「避難所での男女の役割」小浜市
			10月24日	講演「防災とコロナ感染症対策について」 美浜町
	市内医療施設、福井県・ 敦賀市が主催する防災 訓練への協力	教員、分野選 択学生3・4年	10月30日	福井県原子力防災訓練に4年生16名（災害活 動実習履修）が参加した。
	救護ボランティアへの 参加	教員、分野選 択学生3・4年	随時受付	学生・教職員の救護ボランティアの届けでは なかった。
研究	救急看護や災害看護分 野における研究協力	病院・施設等 の看護職	随時受付	救急看護や災害看護分野、地域防災に関する 研究協力依頼はなかった。
	救急・災害看護のニー ズ調査		6月29日	呉竹町で3年生39名（災害看護学履修）が要 配慮者の視点から環境調査を行った。
			7月20日	上記の呉竹町環境調査について、市職員（福祉 保健部、市民生活部）と意見交換を開催した。
			9月10日	呉竹町の住民の方へ、3年生4名（災害看護学 履修）により調査結果を報告し、意見交換会を 開催した。
(その他)	広報	一般市民		大学HPの救急災害看護研究センターのコンテ ンツを確認し更新した。
		高校生	7月18日 11月3日	オープンキャンパスで、当センターの催事コ ーナーを企画し展示した。
	シュミレーション・ラ ボの運営	学部生・院生	5月17日～ 5月24日	学生がラボの活用しやすいように「フィジカ ルアセスメントウィーク」として開放した。5 ～6月に延131名が利用した。
				シュミレーション・ラボの活用、設置機材の整 備とメンテナンスを確認し、Sim Padの蓄電池 の劣化による交換を行った。
				センター内の備品の充実のため、今後の必要 備品の検討を行った。
	活動報告			大学HPにセンター活動を掲載した。また、 2020-2022年度版の報告書の準備に取りかか った。
	センター事業に関する 評価			BLS教育に関する卒業生への調査について検 討した。